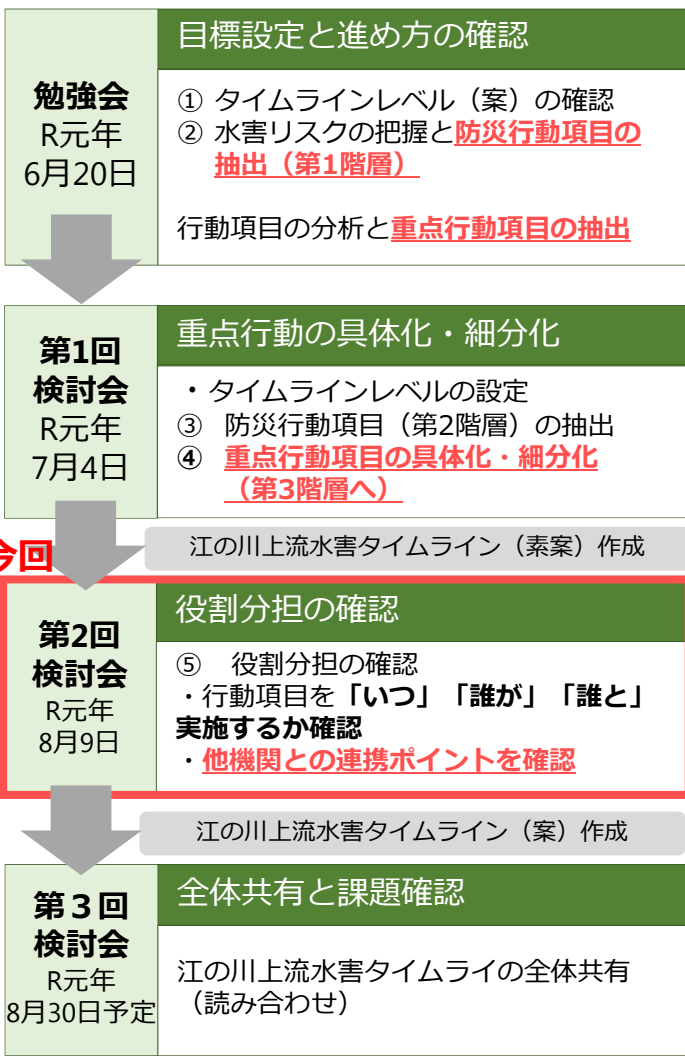


江の川上流水害タイムライン 第2回検討会 ニュースレター

令和元年8月9日（金）三次グランドホテル(13:30～16:30)

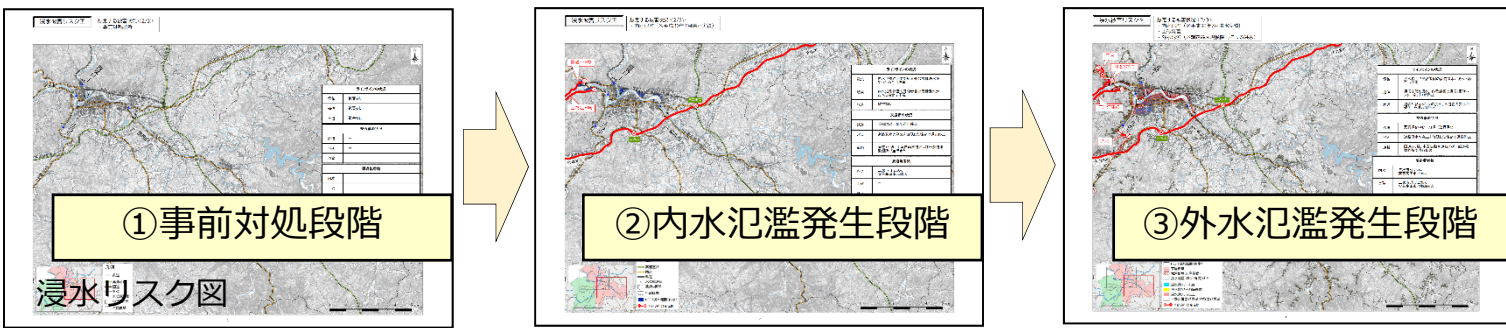
「江の川上流水害タイムライン」の作成に向けて、第2回検討会を開催しました。今回は、防災関係25機関が参加し、前回検討会で各機関毎に具体化・細分化した重点行動項目の中から抽出した他機関と連携を必要とする課題を全体で発表し意見交換しました。これにより、他機関との連携ポイントを確認することができ、いよいよタイムラインの形がみえてきました。

■ ワーキングスケジュール



座学
タイムラインで想定する被害状況

- 水害シナリオでは、本出水期より運用されている警戒レベルに沿ってタイムラインレベルが進行することを想定
- 浸水リスク図では、これまで示してきた浸水情報の他、**ライフラインや交通網の停止状況、主要施設の浸水状況等を整理**
- また、浸水リスク図は、3段階で整理
 - ① 「事前対処段階」
 - ⇒② 「内水氾濫発生段階」（平成30年7月豪雨実績）
 - ⇒③ 「外水氾濫発生段階」（想定最大規模降雨）



- 一次第一
1. 開会挨拶
 2. 第1回検討会の振り返り
 3. タイムラインで想定する被害状況
 4. グループワーキング
 5. 質疑応答
 6. 今後のスケジュールについて
 7. 座長講話
 8. 閉会挨拶

◆ 参加機関

三次市	中国電力(株)
危機管理課	西日本電信電話(株)
土木課	西日本旅客鉄道(株)
水道課	備北交通(株)
下水道課	(株)ディア・レスト三次
社会福祉課	(一社) 三次地区医師会
安芸高田市	(有) ビクトリー観光
危機管理課	社会福祉法人 水明会
上下水道課	社会福祉法人 三次市社会福祉協議会
広島県	社会福祉法人 清風会
危機管理課	本部
道路河川管理課	清風園
広島県 北部建設事務所	サンプリエ
事業調整 土砂法指定推進班	日本放送協会 広島放送局
管理課	(株)三次ケーブルビジョン
広島県 西部建設事務所	国土交通省 三次河川国道事務所
広島県警察本部	河川管理課
三次警察署	道路管理課
安芸高田警察署	国土交通省 土師ダム管理所
安芸高田市消防本部	気象庁 広島地方気象台
陸上自衛隊 第13旅団司令部	出席：25機関、45名 (検討会構成機関：37機関)
座長	広島大学大学院 工学研究科
	河原教授
オブザーバー	国土交通省 浜田河川国道事務所

【STEP1】グループワーク 各機関との連携・調整事項の抽出

- ① 前回検討会で各機関毎に具体化・細分化した重点行動項目がまとめられたタイムライン（素案）の内容を確認
- ② その中から、**他機関との連携を必要とする課題・調整事項を抽出**し、ワークシートに記入
- ③ 各機関が作成したワークシートの中から、**全体ワークで共有する課題・調整事項をグループで3つ程度選定**
 （※グループとして優先的に解決すべき代表的な課題を選定）



↑他機関との連携を必要とする課題等の抽出

【STEP2】全体ワーク 各機関との課題の整理・共有

- ① 9つのグループが順に、解決したい課題・調整事項を全体発表
- ② 発表では、**課題の解決や連携・調整の相手となる他機関に投げかけを行い、意見交換**
- ③ 他機関から得られた**回答、解決策について整理**



↑全体発表・意見交換の様子

■ グループワーキング全体発表

グループ名	発表(投げかけ)の主な内容	回答
福祉避難施設	・夜間受入時の運営対応は？	・施設側でお願いしたいが、困難な場合は他施設に依頼 【三次市危機管理課】
浸水時緊急退避施設	・早めの開設要請がほしい ・施設内の受入れ体制等の取り決めが必要	・開設要請(レベル4)を見込みとして事前連絡 ・基本的には施設にお願いしたいが、困難な場合は市と調整可能 【三次市危機管理課】
社会基盤 (交通・運輸)	・バス運休情報を自治体から周知してほしい(有線放送、ホームページ掲載) ・災害対策本部に交通情報をとりまとめ・発信する係を置いてほしい ・保線管理に必要な道路通行止め情報がほしい	・有線放送のほか、防災メールで発信、ホームページへ掲載 【三次市危機管理課】 ・現状特定の担当はないが、集約した情報はホームページに掲載するなど発信可能 【三次市危機管理課】 ・関係機関にFAX一斉送信(国)、ひろしま道路ナビ(県道)で情報提供
社会基盤 (ライフライン)	・リエゾン派遣の際の円滑な情報共有がしたい ・ライフライン復旧に必要な道路通行止め情報がほしい	・災对本部での情報共有の充実を検討 【広島県危機管理課】 ・(上記に同じ)
社会基盤(土木)	・道路通行止め情報を円滑に収集・提供したい	・住民等から得られた情報は、引き続き速やかに提供、住民には道路管理者に問い合わせるよう仲介 【三次警察署】
大規模避難・救助	・道路管理者と即時連絡できる体制構築したい	・国、県ともに夜間連絡可能 【三次河川国道事務所、広島県北部建設事務所】
避難対応	・福祉避難所の受入可能数を共有したい	・事前に市と確認の上、準備可能 【福祉避難施設】
広報・報道	・災害対策本部の情報を迅速に市民に提供したい	・災对本部にマスコミ対応部門を設置 【三次市危機管理課】
防災情報	・河川情報や情報入手ツールの使い方を報道してほしい	・検討可能 【三次ケーブルビジョン】

タイムラインの役割分担は類似する組織でも異なる場合があるので、丁寧に見ていただきたい。想定するシナリオは最大浸水深7m~8mであることを再認識いただき、江の川上流の氾濫特性を考慮した上で現状の行動項目が十分かどうか再度考え、自分達でできることを追加していただきたい。修正を繰り返して、より良いタイムラインを作成していきたい。 **座長：河原教授**



■ まとめ

- ・全体で課題・調整事項を共有し、意見交換することで、**必要な情報の取得方法や個別に調整が必要な事項について合意形成**が図られ、**他機関との連携ポイントを確認**することができた。

【次回】江の川上流水害タイムライン第3回検討会 8月30日(金) 予定
 ・江の川上流水害タイムライン(案)の全体共有(読み合わせ)

課題・調整シート

機関名	備北交通(株) 営業部業務課
行動項目No.	359
タイムラインレベル	4(レベル5まで継続)
対象機関	防災情報、広報・報道・自治体

課題・調整事項

■ 旅客への運休情報の周知の徹底

- ① 自社HPでの告知および電話対応、主要の駅・施設での掲示への告知(伊予鉄道)を依頼
- ② 三本車・庄原車：有線放送と運休情報に係る要請を、各駅のHPに最新情報を掲載して頂きたい。
- ③ 災害時、対策チームと連携の上、中核の役割の1つに交通情報も取りまとめ、市民に発信する体制をほしい

課題解決方法(機関からの回答)

- ① 交通情報に特化した人量・所要時間は10分以内の掲載に抑えたい。出発する時刻や乗車時刻は別途掲載したい(三本車)
- ② 有線放送で情報を流すのは20分以内、利用客が数分程度に抑えたい(三本車)。
- ③ 以前有線放送での対応はしていた(三本車)HPでの対応も可能。石橋、塩原については情報共有の仕組みを構築したい。

ワークシート(課題・調整シート)の例